

第十七回 北海道 小・中・高校生 短歌コンテスト二次審査通過作品（通過254首中、入選以上を除く166首）

1	小学1～3年生の部	カブトムシミヤマクワガタキリギリスいっばいとった！さいこの夏！	網走市立網走小学校	2年	吉田 大
2		かこのなかぶとのしのしえらそうにうち上げ花火いっしょに見る	黒松内町立黒松内小学校	2年	秋元 璃星
3		カラス鳴く大通公園六時半はじめてさんかのラジオ体そう	札幌市立資生館小学校	3年	縄 乃々香
4		入院中病の祖母に 生きて生きて「またいっしょにねやさいを取ろう	札幌市立西園小学校	3年	廣部 琴
5		かわいいねペロリとなめるねこのチヨ「ふわふわまるでぬいぐるみだね	札幌市立中央小学校	3年	井上 椿
6		お母さんおわらいがすきおもしろいたよりになるしがんばりやさん	札幌市立東光小学校	2年	高橋 桜
7		おおなみだうきわがとれたいきおいですなにごろんとでんぐりがえし	札幌市立西岡小学校	2年	富岡 昊平
8		野球はねほくの人生ないとだめいつかなりたいプロのせん手に	札幌市立八軒北小学校	3年	工藤 祐惺
9		ゴール前相手をかわし道開くここで決めるぜ俺こそエース	札幌市立円山小学校	3年	岩永 一希
10		バイオリンドキドキするよひけるかなあたらしいきよくじょうずになるぞ	札幌市立緑丘小学校	1年	高野倫太郎
11		いくらってたいようみたいオレンジときいろとあかでぶちぶちするよ	札幌市立和光小学校	2年	田中 藤基
12		リクガメのかがやくこつらふれてみたつるつるしていきもちいいなあ	北海道教育大学附属札幌小学校	2年	石塚 立夏
13		動物の歌が聞こえる園内に帰りたくないもう日がくれる	湧別町立開盛小学校	3年	秋葉 陽向

小学4～6年生の部

14		夏に見たまつかな夕日すいめんにきらきらかがやくあかいじゆうたん	旭川市立高台小学校	5年	伊藤 美月
15		決め技が一本出れば帰り道重い防具も風船のように	旭川市立豊岡小学校	4年	谷口 絢音
16		晴れの日にたくさんおよぐなみうちがこつちにおいでほくをよんでる	旭川市立豊岡小学校	4年	吉田 惺奏
17		たのしみは日々変わりゆく植物に心うばわれながめてる時	小樽市立稲穂小学校	6年	田中 陽毬
18		ひらひらと買ったばかりのワンピースすずしい風がふいてきたんだ	小樽市立奥沢小学校	4年	大越 一花
19		はずかしいチャンスがきてものがしてさいつも言えない気持ちをとじる	小樽市立奥沢小学校	4年	菊地 湊斗
20		白ねこだあくびをしていたねむそうだったら私も大きなあくび	小樽市立奥沢小学校	4年	古嶋 月湖
21		たいかいでパスとドリブルつかいわけしよつりみちびくみんなのゴール	音更町立木野東小学校	4年	伊藤 善
22		ベンチからやつとよばれたいだほくフルスイングだまじか三しん	音更町立木野東小学校	4年	亀井 亮太
23		オムライストロトロしててさいこうでママのつくったものがいちばん	音更町立木野東小学校	4年	五嶋 凜花
24		晴れの日にいろとりどりのかさのみちしやしんにとってインスタばえだ	音更町立木野東小学校	4年	佐藤 芽依
25		文月に愛の形よつなぎ合い年に一度の恋みのりけり	釧路市立愛国小学校	4年	林 凜音
26		ホウセンカじゆくした実から飛ぶ種は未来へつながる希望のためこ	釧路市立朝陽小学校	5年	高橋 倅
27		算数のテストの結果は大惨事すべて単位のつけわすれです	札幌市立小野幌小学校	6年	稲見 優助
28		夜の庭せんこう花火一二三落ちていくのが人生みたい	札幌市立札幌北小学校	6年	齊藤 連人
29		バスケット春季大会あと一ゴールくやしいなみだ秋にリベンジ	札幌市立札幌北小学校	6年	佐武 海来
30		久しぶり函館にある祖母の家和室があつて旅館のようだ	札幌市立札幌北小学校	6年	滝谷 愛実
31		ヒーローだ全国大会チャンスでほく心はおどる手足ふるふる	札幌市立札幌北小学校	6年	水木 昊士朗
32		たのしみは和室の中で腰おろし心の波を落ち着かせる時	札幌市立三角山小学校	6年	桑原 匡
33		夏休み西表島海の中シュノーケリングウミガメ見たよ	札幌市立篠路小学校	6年	岡崎 圭汰
34		青空に白いボールと笑い声父とぼくとの夏の思い出	札幌市立篠路小学校	6年	菅野 悠利
35		成功だ！自分のしかけでオスメスのクワガタとれた厚田のキャンプ	札幌市立新琴似南小学校	4年	勝山 力斗
36		黄から赤イチョウの木々が染まるころさわる耳たぶ冷たく赤へ	札幌市立新札幌わかば小学校	5年	山岸 悠翔
37		とうきびをガブリと噛みつき違和感がグラグラの歯がぬると抜ける	札幌市立澄川南小学校	6年	菊池 兼正
38		襲われて時々荒れてるゴミ捨て場今日はいいないな黒い怪物	札幌市立澄川南小学校	6年	木村 理宇
39		赤ちゃんの可愛い姿見ていたら体がくるつと家族びっくり	札幌市立澄川南小学校	6年	下山 春音
40		カブトムシミヤマクワガタつかまえた君はとらない生き急ぐセミ	札幌市立西園小学校	6年	亀谷 健太
41		ぼくは川土をうるおしどこまでも流れていくよ先の先まで	札幌市立桑園小学校	4年	増田 晴香
42		なっている炭がパチパチ拍手して心やすまる忙しい時	札幌市立手稲鉄北小学校	6年	岩本 将吾

88	傘回す雨はピチパチ跳ね上がるジャズのリズムが溢れ出す朝	札幌市立南が丘中学校	2年	重金 美南
87	その角を曲がってふっと会いたいな私の全て運に委ねる	札幌市立南が丘中学校	2年	佐々木妃愛
86	塾終わり土砂降りの中残される孤独な私と青い自転車	札幌市立平岡緑中学校	3年	鈴木萌々香
85	帰省中祖母は僕に「伸びた？」と訊く僕は祖母に「縮んだ？」と訊く	札幌市立平岡緑中学校	3年	岸 慶太郎
84	母よこに時間をかけて味噌とかす共につくればいつもより濃く	札幌市立平岡緑中学校	3年	河合 悠惺
83	炎天下グリップテープの汗みずく片陰でみた友の手のたこ	札幌市立平岡緑中学校	1年	三國 直寛
82	音が鳴るみんなの楽器が響き合う思いをのせて重なる音色	札幌市立平岡緑中学校	1年	小沢孝至朗
81	走り出す視線は前に飛び込んだ体が弾むバク転決めた	札幌市立東白石中学校	2年	吉田 友一
80	笑い合いグラデーションの日焼け跡戻らぬままに過ぎゆく季節	札幌市立日章中学校	3年	小宅 海斗
79	夏祭り三年ぶりの開催で楽しみたいなコロナ忘れて	札幌市立西岡中学校	1年	素野 滉斗
78	晴れの日に遊んで帰り鏡見てマスクの跡の日焼けに気付く	札幌市立西岡中学校	1年	品川 賢一
77	空見上げスマホに写らぬ星たちよ写真に残らず心に残る	札幌市立中央中学校	2年	堀内啓二郎
76	夕飯を母と一緒に作るとき我が家の味の秘訣を知った	札幌市立中央中学校	2年	小田切優月
75	青空にふわりと舞い立つ白い羽において誘われ旅は始まる	札幌市立中央中学校	1年	鎧塚 航
74	試合終え友と見上げる帰り道花火の祝砲モエルの夜空よ	札幌市立札幌中学校	1年	吉原 唯菜
73	筆箱の中には数多の戦友が丸い消しゴム短い鉛筆	札幌市立琴似中学校	3年	林 秀一郎
72	淹れ立ての朝の目覚めの珈琲が部屋の中に香り振りまく	札幌市立琴似中学校	3年	長尾 一輝
71	ハマナスの咲く地で音と朝日浴び心臓震えた初めてのフェス	札幌市立向陵中学校	2年	矢野 七雨
70	うた歌い自転車とばす夜の道受験を忘るる刹那の自由	札幌市立幌東中学校	3年	佐藤向日葵
69	アルパカの毛刈りを終えたその姿首と胴体バランス悪し	札幌市立厚別南中学校	1年	栃内 希升
68	いざ臨む舞台に響く協奏曲重ね合わせた僕たちの音	釧路市立共栄中学校	2年	保科 秀光
67	なにげない暮らしの中でふと気づく大切なのは家族の笑顔	帯広市立川西中学校	2年	辻本姫奈利
66	浴衣着て君と見上げる夏の空もうすぐ始まる打ち上げ花火	江別市立大麻東中学校	2年	赤渕 絆那
65	海の中舞ふ髪の毛と白い服瞳は光る少女はくらげ	江別市立大麻中学校	2年	小玉 ことは
64	新品の教科書見つめ叫びだす二年になるとこんなにもやるのか	恵庭市立恵み野中学校	2年	戸辺 健太
63	笑う日々まだかまだかとまってるけど来てくれぬないコロナ収束	岩見沢市立北村中学校	1年	石澤 星十
62	辛くともどれだけ人をうらめども外れてならぬは人の道かな	石狩市立花川南中学校	2年	田中 聡牙
61	ラケットに力を込めてラインぎわ鋭く飛べよ打ち込むシャトル	石狩市立樽川中学校	2年	佐藤 大河
60	部屋一人ぐせになったよコーヒーを君の分も飲む濃すぎる苦み	石狩市立樽川中学校	2年	佐藤 侑乃
59	義理だよ」と言って渡したチョコレートほんとは君だけ別のカタチ	網走市立第三中学校	2年	岡本 楼那
58	声出して上位をめざしボール追うラケットにぎって仲間と点とる	旭川市立広陵中学校	2年	濱本 陽向
57	海の潮月に引かれて満ち引いて人の心も月に惹かれて	旭川市立神楽中学校	2年	渡邊ひなた
56	コンクール合唱頑張り努力した結果は金賞みんな笑顔に	旭川市立神楽中学校	2年	佐藤保乃加
55	砂と水どちらも形はないけれど支え合えれば友情の城	旭川市立神楽中学校	2年	石田 陽大
54	がさがさとゆれる木のくわがた虫かわいいつのがチラチラみえる	函館市立八幡小学校	6年	福士 実都
53	紅葉がまぶしく光るゆうやけに木の葉をゆらす風のため息	仁木町立仁木小学校	4年	山林 花
52	富良野市のいつもきれいなラベンダーささやきの色むらさきの色	仁木町立仁木小学校	4年	笠井 優羽
51	沖縄でホテルで起きて外に出てあつーと思つた三十五度	苫小牧市立清水小学校	4年	菅井 亮瑛
50	ねむたいなふとんはいつて夢の中いろんな人と話しているよ	斜里町立知床ウトロ学校	6年	三浦 康毅
49	おきなわにとうちやくするとせんとつきおと立てながらとんでいったよ	更別村立更別小学校	4年	山田芯之祐
48	暗い中みんなが空を見上げてる最初の火花歓声あがる	札幌市立西野第二小学校	6年	渡辺花留晏
47	夏祭り夕暮れ頃に待ち合わせ屋台が並ぶふるさとの夏	札幌市立西野第二小学校	6年	三浦 瑠愛
46	夏休み入道雲が大いばり鋭い日差しが突き刺さる	札幌市立西野第二小学校	6年	高橋 凜華
45	夏海微かな音は海の水風におされて騒ぐ水たち	札幌市立西野第二小学校	6年	佐竹 京虎
44	たのしみは実久先生にあう時といっしょに話すしあわせな時	札幌市立屯田南小学校	6年	川村 柚姫
43	夏祭り花火と共に盆踊りはしけるようにみんな踊る	札幌市立手稲鉄北小学校	6年	加藤 朱莉

中学生の部

134	食品科缶詰製造スーパ―で手に取る客の笑顔浮かべて	北海道小樽水産高等学校	2年	樋口 彰
133	寒いねとほほえむ君の左手に冷えた私の小さな右手	北海道小樽水産高等学校	2年	金澤ななみ
132	さようなら汽笛一発船離岸次はいつかな島への帰省	北海道小樽水産高等学校	2年	石川一沙斗
131	だらだらと流れる汗を踏みしめて強くなるため四股踏みドスコイ	北海道小樽水産高等学校	1年	佐々木英寿
130	久しぶり賑わう小樽夜の街三年ぶりの爆音火花	北海道小樽水産高等学校	1年	葛西 猛琉
129	秋風が少し寒い」と言う君の瞳にうつる散りゆく紅葉(もみじ)	北海道小樽水産高等学校	1年	大西 蒼音
128	夏祭り慣れない浴衣に袖通し君への想いはまだ胸の中	北海道網走南ヶ丘高等学校	3年	兼田 桃香
127	三年で新たな特技身につけた目だけで感情読み取り伝える	北海道旭川工業高等学校	3年	柳嶋 隼都
126	夢を手に残張る自分夏休み開くノートに未来が続く	北海道旭川工業高等学校	3年	小林 咲哉
125	ふとするといつの間にか探してる目が合うとまたそらしてしまう	北海道旭川工業高等学校	2年	湊 莉乃
124	祭りの後アイス片手に笑う君レンズを越えて星の瞬く	市立札幌大通高等学校	3年	小松 駿哉
123	庭にある一輪だけのひまわりのように何かに向かっていきたい	帯広北高等学校	3年	三浦 巨陽
122	色々な迷いがあつて決めた道この先はもう迷わず進む	帯広北高等学校	3年	藤木 琉月
121	将来の自分のために体験する看護の道は厳しく狭い	帯広北高等学校	3年	長澤 実来
120	だんだんと街並み見る目変わってく考え方も価値観さえも	帯広北高等学校	3年	高橋 菜摘
119	もう高三気づいた時には未来決め迷う暇なくもう成人	帯広北高等学校	3年	北大河
118	手の中で触れられるのに遠い距離いつか会えたらいいなと思う	帯広北高等学校	2年	浦瀧 昊
117	キッチンの音と匂いで目が覚めてお昼に気づく母の愛情	帯広北高等学校	1年	小門咲優理
116	一人だときけないことがあるけれど顔を上げれば味方がいるよ	帯広北高等学校	1年	小野寺華音
115	高校に通学できる当たり前初めて思う感謝の夏	帯広北高等学校	1年	北原 快音
114	夏の夜牧草ロールを運んでる父の背中に虫が集まる	旭川実業高等学校	2年	藤澤 香椎
113	山里にいとこ集まり水遊び小さな虹が現れた午後	旭川実業高等学校	2年	西島 実優
112	教室を小さいコウモリ歩いてた可愛い悪魔逃がしてあげた	旭川実業高等学校	2年	鈴木 美冬
111	教室に薄桃色のシクラメン友人の恋応援した日	旭川実業高等学校	2年	鎌田隼太郎
高校生の部				
110	本を読む想像宝庫のドア開ける未来を照らすワンダーランド	立命館慶祥中学校	1年	宮川 優希
109	洪緑かがやいている沼の色そこに浮きたる蓮の桃色	室蘭市立桜蘭中学校	2年	上山ひなの
108	夏の宵夕日に照らされる漣よたちのぼる雲は緋色の赤	北海道函館聾学校中部	1年	福壽 渉
107	せんぶうきかだいとばされ大さわぎプリント集めまたとばされる	北海道函館盲学校中部	2年	水島 文歌
106	アンカーヘバトンをつなぐ三走目四人で見上げた決勝景色	苫小牧市立凌雲中学校	2年	吉田 詩楽
105	一年でやつとの思いの十三秒まだまだあいつに追いつけないが	苫小牧市立凌雲中学校	2年	水野 統真
104	君と見た打ち上げ花火その下でにぎってくれた私の右手	苫小牧市立凌雲中学校	2年	河合つくし
103	白き矢に願いをこめて解き放つつかききたい皆中の音	苫小牧市立青翔中学校	2年	松下 玲
102	湖に映る夕日を眺めるといやな気持ちもとけてなくなる	苫小牧市立明野中学校	2年	大野 彪雅
101	新しいニュースで徐々に薄れてく忘れていない？戦争のこと	苫小牧市立明野中学校	2年	時田 華奈
100	コロナでも自分にできることはある未来を変えよう自分革命	苫小牧市立明野中学校	2年	田中 真帆
99	制服のかたさもとれた一年生かたくなるのは友との絆	苫小牧市立明野中学校	1年	渡邊 杏香
98	マスクせず過ごす日々には憧れる友人の顔未だ解らぬ	苫小牧市立明野中学校	1年	箕島 由都
97	だれよりもはしゃいでいたお母さん思い出増えた家族旅行	苫小牧市立明野中学校	1年	久代 華凜
96	満月がひすいの海に溶けるまであなたを待った長く長く	千歳市立千歳中学校	2年	松坂安祐美
95	日がのぼり親に起こされ目がさめて坊主仲間と駆け込み乗車	伊達市立光陵中学校	2年	馬場 陽大
94	初夏の朝学校一周してみたらきらきら輝く水路の水	壮瞥町立壮瞥中学校	2年	大川 響己
93	最終日解き放たれたオレたちは風のこくとくに教室翔び出す	札幌日本大学中学校	1年	三上 颯大
92	人生の針は一生戻らない時に刻み込む日々のメモリー	札幌市立宮の丘中学校	3年	中村 凜
91	風吹けば桜散る道思い出すあのとときの春ふみ出せた一歩	札幌市立宮の丘中学校	3年	佐藤 創太
90	しかけ投げ釣り上げてみりゃさおおもい陸まで来たらヒトデ二匹	札幌市立宮の丘中学校	2年	村井 謙太
89	窓あけてふわりとおう雨のにおい君とさした水玉模様	札幌市立宮の丘中学校	2年	道上 桜

166	165	164	163	162	161	160	159	158	157	156	155	154	153	152	151	150	149	148	147	146	145	144	143	142	141	140	139	138	137	136	135
君と見る景色はどれも美しい海に花火に君の横顔	今年こそ君と行きたい夏祭り買ったばかりの浴衣をおろす	君と見る夜空に浮かぶ光る花流れる涙想いを知らず	虫送り道のはずれのため池に飛び交うホタル君と見た夏	暑い夏汗と涙を糧にして勝利へ一歩近づく為に	がむしやらに進み続けた道の先新たな風でさらに向こうへ	誕生日あなたが好きなスイーツを祝いの言葉と朝一番に	夢の中目覚まし代わりの窓明かり微かに聴こえるせみの歌声	今までの経験全て糧となり私は進むまだ見ぬ未来へ	青空と小麦畑の青と黄色争いのない世界を祈る	桜咲き君との間に一枚の花びら落ちれば始まる青春	好きな音木々がゆらゆらゆれているざわさわわと葉っぱがゆれる	少しだけあと少しだけ起きていようだって返事を待っているから	天国と地獄という語が似合ってる長期休暇とテスト週間	部活中体育館に響いてるあのかけ声は力の源	さざなみの静かに響く海の声青美しき積丹岬	別れ際寂しく思い振り返るとこちらを見ている君と目が合う	雷管と選手の靴と青空と夏がはじまるスタートダッシュ	ふわふわとピアノの音が鳴りひびく音色がきれいな心にひびく	先をゆくその背を見つめ君思う心にそっと思い吹き入る	好きなのに勇気を出して告げない相手の気持ち先に知りたい	晴天に雪もとけつつ家の庭つくしが顔出し春を感じる	卒業が近づくと今日の秋空が友との思い出別れを惜しむ	ようていのちからをもらいそだててくあせみずながし笑顔でいただく	夏休み屋台で食べたあの味はいつも忘れぬ君との思い出	半袖で登校する朝くしやみ出て秋の初風ブレザーを着る	お祭りできごとと一緒に着た浴衣三才も今もずっと仲良し	新人戦気持ち高ぶる短距離走誰にも負けない目指せ自己新	夏休み学生最後の夏休み履歴書作成面接練習	空に散る花火見上げる君を見た青い気持ち胸ではじける	久しぶり。見慣れない服に身を包む変わらぬ君と舞い散る桜	駅おりて朝の香りとゆるい坂目につづるのは小樽の運河
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	北海道夕張高等学校	北海道夕張高等学校	北海道夕張高等学校	北海道夕張高等学校	北海道富良野高等学校	北海道富良野高等学校	北海道富良野高等学校	北海道札幌白石高等学校	北海道札幌白石高等学校	北海道札幌白石高等学校	北海道札幌白石高等学校	北海道札幌白石高等学校	北海道札幌視覚支援学校高等部	北海道札幌視覚支援学校高等部	北海道札幌あいの里高等支援学校	北海道倶知安農業高等学校	北海道倶知安農業高等学校	北海道札幌工業高等学校(定時制)	北海道北広島高等学校	北海道小樽未来創造高等学校	北海道小樽未来創造高等学校	北海道小樽未来創造高等学校	北海道小樽未来創造高等学校	北海道小樽未来創造高等学校	北海道小樽水産高等学校		
3年	2年	2年	2年	2年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年	1年	1年	1年	1年	1年	1年	3年	2年	3年	3年	3年	2年	1年	3年	3年	2年	2年	1年	2年	
小峠 憂佳	吉村 萌	平賀 華奈	長島 想汰	及川 雅利	本間 抗	波佐尾 藍衣	二階堂 ずか	鳶坂 信之介	山本 葉月	大西 陽希	大坂 涼	森 愛佳	濱野 日向	西村 心花	辻村 拓	宿谷 琉真	桶矢 芽和	小山田 愛梨	秋保 侑奈	蠣崎 匠	野澤 輝仁	下山 倅葉	氣田 智春	中村 亘希	三井 柊哉	荒谷 嘉音	阿部 美月	増田 颯	小川 弓来	可児 ちひろ	脇本 颯